

Agilent U1210シリーズ ハンドヘルド・クランプ・メータ

高電流をより安全に測定可能

Data Sheet

特長

- 52 mmの広いクランプ口
- AC、DC、AC+DCで最大1000 Aの高電流測定
- CAT III 1000 V/
CAT IV 600 V安全規格
- Bluetooth®に対応(オプションのU1177A赤外線(IR) - Bluetoothアダプタが必要)
- 抵抗、キャパシタンス、周波数、測定機能を備えたフル機能DMMを内蔵
- 高分解能測定：最小0.01 mAの電流測定
- ピーク・ホールド
- デュアル・レンジ切替えモード：手動/自動
- 大型デュアル・ディスプレイ
- 最小値/最大値の記録機能



電気配線ケーブルの測定は、危険が伴います。Agilent U1210シリーズハンドヘルド・クランプ・メータを使用すれば、直径52 mmまでのケーブルに対して、回路を遮断せずに高電流を測定できます。他の多くのクランプ・メータとは異なり、抵抗、キャパシタンス、周波数、温度などのDMM機能もあり、敷設/保守時にトラブルシューティングが簡単に行えます。また最大の特長として、CAT IV 600VおよびCAT III 1000 V安全規格に準拠し、さらに安全性が向上しています。



主な測定機能

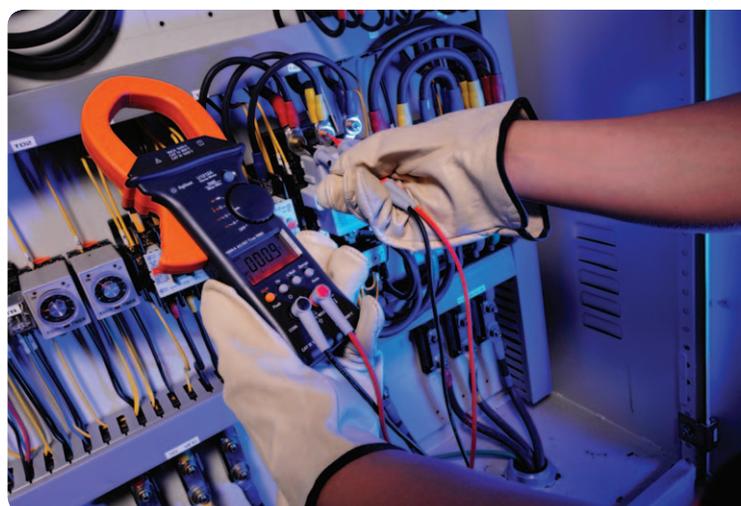
簡単で正確な電流測定

Agilent U1210シリーズ ハンドヘルド・クランプ・メータは、52 mmのクランプ口と、最大1000 A(AC、DC、AC+DC)の大電流を測定することができます。大きなクランプ開口により、太いケーブルの電流測定も容易に行えます。U1210シリーズは、使いやすく多機能であるだけでなく、大電流も安全に測定できます。



フル装備のデジタル・マルチメータ機能

U1210シリーズ ハンドヘルド・クランプ・メータには、基本的なマルチメータ機能があり、さまざまなアプリケーション(ACA、DCV、ACV、抵抗、可聴導通、ダイオード・テスト、周波数テスト)に対応できる豊富な測定機能を備えています。これらのメータには、自動レンジ切替え機能、突入電流測定用の内蔵ピーク・ホールド機能、温度/キャパシタンス測定機能があり、測定結果は大型のバックライト搭載ディスプレイに表示されます。また、片手での操作が可能です。



遠距離での測定もスムーズに実行

電流測定は、その複雑さと、大電流を扱わなければならないことから、困難な作業になりがちです。さらに、配電設備は別の場所にあることが多いため、測定結果を比較して確認するために現場との間を往復する必要があります。メンテナンスやトラブルシューティングがますます複雑になります。

既存のU1210シリーズ ハンドヘルド・クランプ・メータに新しいBluetooth機能を追加することで、大電流測定がより安全かつ便利な方法で行えるようになります。U1177A赤外線Bluetoothアダプタを取り付ければ、



Androidデバイスを使用して、最大10 mの距離から測定結果をモニターし、データを記録することができます。これにより、アクセス困難な環

境での作業の効率と生産性を大幅に高めることができます。

詳細



52 mmの広い開口部により、
太い電流線をテスト可能

キャパシタンス／ダイオード測定

最大値／最小値の記録機能

温度測定／可聴導通機能

AC、DC、AC+DCで
最大1000 Aの高電流測定

最大読み値4000カウントの
大型LCDディスプレイ

突入電流テスト用の
ピーク・ホールド機能

手動または自動レンジ切替え

一般仕様

項目	仕様
寸法	<ul style="list-style-type: none"> U1211A：106 mm(幅)×273 mm(長さ)×43 mm(高さ) U1212A/U1213A：106 mm(幅)×260 mm(長さ)×43 mm(高さ)
正味重量	<ul style="list-style-type: none"> U1211A：625 g(バッテリーを含む) U1212A/U1213A：525 g(バッテリーを含む)
ディスプレイ	4桁(最大読み値：4,100カウント)。12セグメントのアナログ棒グラフとフル・インジケータ。自動極性表示。
バッテリー	標準9Vアルカリ電池
電池消耗インジケータ	バッテリー電圧が6.0V未満のとき
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> U1211A：186 mVA(最大値) U1212A/U1213A：220 mVA(最大値)
バッテリー寿命	60 時間(代表値)
インタフェース	Bluetooth®無線インタフェース
最大額開口	52 mm
温度係数	0.12×(仕様精度)/°C(0～18℃または28～50℃)
NMRR(ノーマル・モード・ノイズ除去比)	このシリーズのNMRR仕様は50 Hzおよび60 Hzで>60 dBなので、DC測定でACノイズの影響はほとんどありません。
CMRR(コモン・モード除去比)	<ul style="list-style-type: none"> U1211A、U1212AのCMRR仕様は、ACV測定ではDC～60 Hzで>60 dB、DCV測定ではDC、50 Hzおよび60 Hzで>80 dBです。 U1213AのCMRR仕様は、ACV測定ではDC～60 Hzで>60 dB、DCV測定ではDC、50 Hz、60 Hzで>120 dBです。
動作温度	-10～50℃、0～80% R.H.
保管温度	-20～60℃、0～80% R.H.
相対湿度(R.H.)	31℃の温度まで最大80%の相対湿度(R.H.)、50% R.H.(50℃)までリニアに減少
温度係数	0.1×(仕様精度)/°C(0℃～18℃または28℃～50℃)
安全規格	EN/IEC 61010-1:2001、ANSI/UL 61010-1:2004、CAN/CSA-C22.2 No.61010-1-04
測定カテゴリ	CAT III 1000 V/CAT IV 600 V
EMCコンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> IEC61326-1:2005/EN61326-1:2006に準拠 CISPR 11:2003/EN 55011:2007グループ1クラスA カナダ：ICES-001:2004 オーストラリア/ニュージーランド：AS/NZS CISPR11:2004

U1211Aの電気仕様

精度は、23℃±5℃の温度、80%未満の相対湿度で、±(読み値の%+最下位桁のカウント数)で表されます。

ACV/ACA仕様は、AC結合時の真の実効値で、レンジの5%~100%で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大3.0です。ただし1000Vおよび1000Aレンジは例外で、フル・スケールで1.5となります。クレスト・ファクタが3までの非正弦波形的場合は、(読み値の2%+フル・スケールの2%)(代表値)を加算します。

DC電圧

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
400 V	0.1 V	0.5%+5	1000 V RMS
1000 V	1 V	0.5%+3	

- 入力インピーダンス：10 MΩ(公称値)

AC電圧

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	
400 V	0.1 V	1%+5	1000 V RMS
1000 V	1 V	1%+5	

- 入力インピーダンス：10 MΩ(公称値)、並列容量：<100 pF

電圧(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
400 V	0.1 V	1%+43	1000 V RMS
1000 V	1 V	1%+43	

- 仕様精度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

ダイオード・テスト/可聴導通テスト

レンジ	分解能	精度	テスト電流	開放電圧
ダイオード	0.001 V	0.5%+2	約0.8 mA	<+3.1 V

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 読み値が約50 mVより低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは0.3 V≤読み値≤0.8 Vの半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

抵抗

レンジ	分解能	精度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.5%+3	0.8 mA
4 kΩ	0.001 kΩ	0.5%+3	80 μA

注記：

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 最大オープン電圧：<+3.1 V
- 可聴導通：抵抗が10.0 Ω未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
- 400 Ωと4 kΩの精度仕様は、相対機能(テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用)を適用した後の仕様です。

U1211Aの電気仕様(続き)

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 μ F	0.1 μ F	2%+4	ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
4000 μ F	1 μ F	3%+4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

AC電流

レンジ	分解能	確度*N1		
		45 ~ 65 Hz	65 ~ 400 Hz	400 Hz ~ 1 kHz
40 A	0.01 A	1.0%+10	1.0%+10	3.0%+10
400 A	0.1 A	1.0%+5	1.0%+5	3.0%+5
400 ~ 700 A	1 A	1.0%+5	1.0%+5	3.0%+5
700 ~ 1000 A	1 A	1.0%+5	なし	なし

- 最大過負荷：1000 A RMS。確度は左右対称波形で仕様化されています。
- N1：電流一周波数積の最大値は400,000 A x Hz 未満です。

警告：

測定デューティ・サイクルは次のリミットを超えないようにする必要があります。

0 ~ 600 A RMS	連続
600 ~ 700 A RMS	10分間オン、10分間オフ
700 ~ 1000 A RMS	5分間オン、20分間オフ

電流(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0%+70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0%+43	
1000 A	1 A	2.0%+43	

- 仕様確度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

U1211Aの電気仕様(続き)

周波数(AC結合)

レンジ	分解能	精度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz	0.2%+3	10 Hz
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz		
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.1 kHz		

- 過負荷保護：1000 V、<20,000,000 V×Hz

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度(RMS)	
ACの仕様精度の最大入力	40 Hz ~ 2 kHz	10 ~ 40 Hzまたは2 ~ 100 kHz
400 V	6 V	6 V
1000 V	20 V	30 V(<10 kHz)
40 A	3 A(<1 kHz)	3 A(<1 kHz)
400 A	20 A(<1 kHz)	20 A(<1 kHz)
1000 A	50 A(1 kHz)	50 A(<1 kHz)

U1212Aの電気仕様

精度は、23℃±5℃の温度、80%未満の相対湿度で、±(読み値の%+最下桁のカウント数)で表されます。

ACV/ACA仕様は、AC結合時の真の実効値で、レンジの5%~100%で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大3.0です。ただし1000Vおよび1000Aレンジは例外で、フル・スケールで1.5となります。クレスト・ファクタが3までの非正弦波形的場合は、(読み値の2%+フル・スケールの2%)(代表値)を加算します。

DC電圧

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
400 V	0.1 V	0.5%+3	1000 V RMS
1000 V	1 V	0.5%+3	

- 入力インピーダンス：10 MΩ(公称値)

AC電圧

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	
400 V	0.1 V	1%+5	1000 V RMS
1000 V	1 V	1%+5	

- 入力インピーダンス：10 MΩ(公称値)、並列容量：<100 pF

電圧(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	精度	過負荷保護
400 V	0.1 V	1%+43	1000 V RMS
1000 V	1 V	1%+43	

- 仕様精度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

ダイオード・テスト/可聴導通テスト

レンジ	分解能	精度	テスト電流	開放電圧
ダイオード	0.001 V	0.5%+2	約0.8 mA	<+3.1 V

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 読み値が約50 mVより低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは0.3 V≤読み値≤0.8 Vの半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

抵抗

レンジ	分解能	精度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.5%+3	0.8 mA
4 kΩ	0.001 kΩ	0.5%+3	80 μA

注記：

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 最大オープン電圧：<+3.1 V
- 可聴導通：抵抗が10.0 Ω未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
- 400 Ωと4 kΩの精度仕様は、相対機能(テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用)を適用した後の仕様です。

U1212Aの電気仕様(続き)

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
400 μ F	0.1 μ F	2%+4	ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
4000 μ F	1 μ F	3%+4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

DC電流

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	1.5%+15	1000 A RMS
400 A	0.1 A	1.5%+3	
1000 A	1 A	2.0%+5	

- 残留オフセットをゼロ調整するには相対モードを使用してください。

AC電流

レンジ	分解能	確度*N1		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	2.0%+10	3.0%+10	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0%+5	3.0%+5	
1000 A	1 A	2.0%+5	3.0%+5	

- N1：電流一周波数積の最大値は400,000 A x Hz 未満です。

電流(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0%+70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0%+43	
1000 A	1 A	2.0%+43	

- 仕様確度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

温度テスト

熱電対タイプ	レンジ	分解能	確度
K	-200 ~ -40 °C	0.1 °C	1%+3 °C
	-40 ~ -1372 °C	0.1 °C	1%+1 °C
	-328 ~ -40 °F	0.1 °F	1%+6 °F
	-40 ~ -2502 °F	0.1 °F	1%+2 °F

注記：

1. 確度には、熱電対プローブの許容範囲が含まれていません。メータは、同じ場所に1時間以上置いておく必要があります。
2. 33 Vrmsまたは70 Vdc以上印加されている表面に温度センサが触れないようにしてください。こうした電圧は感電の危険があります。
3. 温度計算は、EN/IEC-60548-1およびNIST175規格に準拠しています。

U1212Aの電気仕様(続き)

周波数(AC結合)

レンジ	分解能	確度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz		
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz	0.2%+3	10 Hz
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.1 kHz		

- 過負荷保護：1000 V

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度(RMS)	
ACの仕様確度の最大入力	40 Hz ~ 2 kHz	10 ~ 40 Hzまたは2 ~ 100 kHz
400 V	6 V	6 V
1000 V	20 V	30 V(<10 kHz)
40 A	3 A(<1 kHz)	3 A(<1 kHz)
400 A	20 A(<1 kHz)	20 A(<1 kHz)
1000 A	50 A(1 kHz)	50 A(<1 kHz)

U1213Aの電気仕様

確度は、23℃±5℃の温度、80%未満の相対湿度で、±(読み値の%+最下桁のカウント数)で表されます。

AC電圧、AC電流、AC+DC電圧、AC+DC電流仕様は、AC結合時の真の実効値で、レンジの5%~100%で有効です。クレスト・ファクタは、フル・スケールで最大3.0です。ただし1000Vおよび1000Aレンジは例外で、フル・スケールで1.5となります。クレスト・ファクタが3までの非正弦波形的場合は、(読み値の2%+フル・スケールの2%)(代表値)を加算します。

DC電圧

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 V	0.001 V		
40 V	0.01 V	0.2%+5	
400 V	0.1 V		1000 A RMS
1000 V	1 V	0.5%+3	

- 入カインピーダンス：10 MΩ (公称値)

AC電圧

レンジ	分解能	確度		過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	400 Hz ~ 2 kHz	
4 V	0.001 V			
40 V	0.01 V			
400 V	0.1 V	1.0%+5	2.0%+5	1000 V RMS
1000 V	1 V			

- 入カインピーダンス：10 MΩ (公称値)、並列容量：<100 pF

AC+DC電圧

レンジ	分解能	確度		過負荷保護
		45 ~ 400 Hz	400 Hz ~ 2 kHz	
4 V	0.001 V			
40 V	0.01 V			
400 V	0.1 V	1.5%+9	2.5%+9	1000 V RMS
1000 V	1 V			

- 入カインピーダンス：10 MΩ (公称値)、並列容量：<100 pF

電圧(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 V	0.001 V		
40 V	0.01 V		
400 V	0.1 V	1.0%+43	1000 V RMS
1000 V	1 V		

- 仕様確度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

U1213Aの電気仕様(続き)

ダイオード・テスト/可聴導通テスト

レンジ	分解能	確度	テスト電流	開放電圧
ダイオード	0.001 V	0.5 % + 2	約0.8 mA	< +3.1 V

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 読み値が約50 mVより低いときには、内蔵ブザーが鳴ります。正常な正バイアス・ダイオードまたは0.3 V ≤ 読み値 ≤ 0.8 Vの半導体接合に対して可聴シングル・トーンが発生します。

抵抗

レンジ	分解能	確度	テスト電流
400 Ω	0.1 Ω	0.3 % + 3	0.8 mA
4 kΩ	0.001 kΩ		80 μA
40 kΩ	0.01 kΩ		8 μA
400 kΩ	0.1 kΩ	0.6 % + 3	727 nA
4 MΩ	0.001 MΩ		112 nA
40 MΩ	0.01 MΩ		112 nA

注記：

- 過負荷保護：ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
- 最大オープン電圧：< +3.1 V
- 可聴導通：抵抗が10.0 Ω未満のときに内蔵ブザーが鳴ります。
- 400 Ωと4 kΩの確度仕様は、相対機能(テスト・リードの抵抗と熱起電力の減算に使用)を適用した後の仕様です。

キャパシタンス

レンジ	分解能	確度	過負荷保護
4 μF	0.001 μF	1 % + 4	ショート電流<0.3 Aの回路に対して1000 V RMS
40 μF	0.01 μF		
400 μF	0.1 μF	2 % + 4	
4000 μF	1 μF	3 % + 4	

- 確度は、薄膜キャパシタなどの高品質キャパシタに基づいたもので、相対モードを使用して残留値をゼロにした場合です。

DC電流

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	1.5 % + 15	1000 A RMS
400 A	0.1 A	1.5 % + 3	
1000 A	1 A	2.0 % + 5	

- 残留オフセットをゼロ調整するには相対モードを使用してください。

U1213Aの電気仕様(続き)

AC電流

レンジ	分解能	確度*N1		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	2.0 % +10	3.0 % +10	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 % +5	3.0 % +5	
1000 A	1 A	2.0 % +5	3.0 % +5	

- N1 : 電流一周波数積の最大値は400,000 A x Hz 未満です。

AC+DC電流

レンジ	分解能	確度		最大過負荷
		45 ~ 65 Hz	65 Hz ~ 1 kHz	
40 A	0.01 A	3.5 % +25	4.5 % +25	1000 A RMS
400 A	0.1 A	3.5 % +9	4.5 % +9	
1000 A	1 A	4.5 % +9	5.0 % +9	

電流(1 msピーク・ホールド)

レンジ	分解能	確度	最大過負荷
40 A	0.01 A	2.0 % +70	1000 A RMS
400 A	0.1 A	2.0 % +43	
1000 A	1 A	2.0 % +43	

- 仕様確度は持続時間が1 msを超える変化に対する値

温度テスト

熱電対タイプ	レンジ	分解能	確度
K	-200 ~ -40 °C	0.1 °C	1 % +3 °C
	-40 ~ -1372 °C	0.1 °C	1 % +1 °C
	-328 ~ -40 °F	0.1 °F	1 % +6 °F
	-40 ~ -2502 °F	0.1 °F	1 % +2 °F

注記 :

1. 確度には、熱電対プローブの許容範囲が含まれていません。メータは、同じ場所に1時間以上置いておく必要があります。
2. 33 Vrmsまたは70 Vdc以上印加されている表面に温度センサが触れないようにしてください。こうした電圧は感電の危険があります。
3. 温度計算は、EN/IEC-60548-1およびNIST175規格に準拠しています。

U1213Aの電気仕様(続き)

周波数(AC結合)

レンジ	分解能	確度	最小周波数
99.99 Hz	0.01 Hz	0.2%+3	10 Hz
999.9 Hz	0.1 Hz		
9.999 kHz	0.001 kHz		
99.99 kHz	0.01 kHz		
999.9 kHz	0.1 kHz		

- 過負荷保護：1000 V、<20,000,000 V×Hz

感度

周波数感度		
レンジ	最小感度(RMS)	
ACの仕様確度の最大入力	45 Hz ~ 2 kHz	10 Hz ~ 200 kHz
4 V	0.3 V	0.6 V
40 V	2 V	3 V
400 V	20 V	30 V(<100 kHz)
1000 V	50 V	50 V(<10 kHz)
40 A	3 A(<1 kHz)	3 A(<1 kHz)
400 A	20 A(<1 kHz)	20 A(<1 kHz)
1000 A	50 A(<1 kHz)	50 A(<1 kHz)

デューティ・サイクル

モード	レンジ	フルスケールの確度
AC結合	0.1%~99.9%	0.3% /kHz+0.3%

注記：

- デューティ・サイクルの確度は、4 Vdcレンジで、最大周波数2 kHzの4 V方形波入力に基づいたものです。信号の周波数が20 Hzを超える場合は、デューティ・サイクル・レンジは5%~95%の範囲で測定できます。

オーダ情報

標準付属品

- テスト・リード
- 4mmプローブ
- ソフト・キャリング・ケース
- クイック・スタート・ガイド
- 校正証明書(CoC)

別売アクセサリ

U1168A



標準テスト・リード・キット

U1162A



ワニ口クリップ

U1175A



ソフト・キャリング・ケース

U1186A



Kタイプ熱電対およびアダプタ

U1177A



赤外線(IR) - Bluetoothアダプタ



ご存じですか？

クランプ・メータでは、一度に1つの導線のみを測定するようにしてください。複数の導線を測定すると、導線内を流れる電流のベクトル和により、測定読み値が不正確になる可能性があります。



myAgilent

<http://www.agilent.co.jp/find/myAgilent>

お客様がお求めの情報はアジレントがお届けします。myAgilentに登録すれば、ご使用製品の管理に必要な様々な情報を即座に手に入れることができます。



www.lxistandard.org

LXIは、Webへのアクセスを可能にするイーサネット・ベースのテスト・システム用インタフェースです。Agilentは、LXIコンソーシアムの設立メンバです。

契約販売店

www.agilent.co.jp/find/channelpartners

アジレント契約販売店からもご購入頂けます。お気軽にお問い合わせください。

Agilent
Advantage
Services

アジレント・アドバンテージ・サービスは、お客様の機器のライフタイム全体にわたって、お客様の成功を支援します。また、サービスの品質向上、サービス内容の充実、納期の短縮に継続的に取り組みます。こうした取り組みは、機器の維持管理費の削減にも繋がると信じております。このような修理・校正サービスに支えられたアジレント製品を購入後も安心してお使いください。機器およびサービスの管理の効率化に、Infoline Webサービスもご活用いただけます。修理・校正サービスを通じて、お客様のビジネスの成功に貢献できるよう努め、エンジニアは専門知識を積極的にお客様に提供します。

www.agilent.co.jp/find/advantageservices



www.agilent.co.jp/quality

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ■■ 0120-421-345
(042-656-7832)

FAX ■■ 0120-421-678
(042-656-7840)

Email contact_japan@agilent.com

電子計測ホームページ
www.agilent.co.jp

- 記載事項は変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

BluetoothおよびBluetoothロゴはBluetooth SIG, Inc., U.S.A.が所有する登録商標であり、Agilent Technologies Inc.にライセンスされています。

© Agilent Technologies, Inc. 2013

Published in Japan, January 29, 2013
5990-5083JAJP
0000-00DEP



Agilent Technologies